

	<p>校 訓：自律 敬愛 創造 学校教育目標：求めて学び、 心身ともにしなやかで たくましい生徒の育成</p>	<p>中野中学校だより 令和5年7月21日 校長 戸川 忠諭</p>
---	--	--

◎第1学期、終了できました！ありがとうございました！

保護者の皆様のご協力・ご支援のおかげをもちまして、第1学期を終了することができました。ありがとうございました。

終業式では、3年生代表・〇〇〇さん、2年生代表・〇〇くん、1年生代表・〇〇さんが1学期を振り返ってと2学期に向けての決意を述べてくれました。



私からは、始業式のときに話をした、

- ①「自ら課題を見つけながら、様々な学びに取り組んでほしい」
- ②「心も体も柔軟で自在に対応できる、少々のことではへこたれない、諦めない、粘り強い人になってほしい」

ということについて、どうだったか問いかけました。

そして、夏休みも基本的には同じように頑張ってもらいたいということ。校訓の3つの言葉「自律・創造・敬愛」も頭に置いてより良い夏休みにしてほしいということ。何より、「命を守る」ということ。困ったときは相談してほしいということ。

以上について話をしました。

◎1, 2年生の社会科の学習が、長崎新聞に掲載されました。

◎道徳公開授業（長崎っ子の心を見つめる教育週間において） についてです。

7月7日（金）、上記教育週間の最終日に、「命について」をテーマに、道徳の授業を行いました。

3年生は「優介の決意」というタイトルの教材で、臓器移植ということを通して、命について考えました。臓器を「提供する権利」「提供しない権利」、移植を「受ける権利」「受けない権利」…自分の場合、自分の大切な人の場合、家族の場合など様々な場合における4つの権利について、自分の考えを述べ、他人の考えを聞き、考えを深めました。



2年生は「そこにいるだけでいい」というタイトルの教材で、生命の尊さについて考えました。来校されたお母さん方に、子供たちを妊娠したときのことや、出産したときのことを伺いました。また、教材の中の、死産の子を出産した母親の気持ちについてや、命とは（あなたにとって）どんなものか、などについてそれぞれの考えを聞き、深めていきました。



1年生は、新井淑則（よしのり）先生という全盲の中学校の先生に関する授業でした。一時は自暴自棄になり心を閉ざしてしまいましたが、家族や周りの人々の励ましにより困難を乗り越え、令和3年度に退職されるまで教壇に立ち続けた先生のお話でした。その姿を通して、希望をもち前向きに生きることの大切さをみんなで考えを深めました。



◎1年生が野外宿泊学習に行ってきました。



※2学期も、また
どうぞよろしく
お願いいたします。